

# 陣痛促進剤による

# 被害を考える会

設立30周年記念  
シンポジウム

## 無痛分娩流行で陣痛促進剤の使用が増える中、安全は確保されているか

日時 **12/2(土)** 13:30~17:30 (開場13:10)

場所 **日比谷コンベンションホール**

東京都千代田区日比谷公園1-4 (旧都立日比谷図書館) Tel.03-3502-3340

東京メトロ「霞ヶ関駅」丸の内線・日比谷線 B2出口3分 / 千代田線 C4出口3分  
都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7出口3分 / JR新橋駅 日比谷口より徒歩10分



参加費 **1,000円/事前申込み不要** ■ 18時より懇親会を行います

後援 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会 全国薬害被害者団体連絡協議会 薬害・医療被害をなくすための厚労省交渉団

安全なお産に  
繋げるために

### 第一部 講演

- 出元明美** (当会代表) 基調報告「会30年の歩み」～多くの事例から学んでほしいこと～
- 迫田朋子** (ジャーナリスト) マスコミで初めて促進剤被害を取り上げた元NHK番組キャスターとして
- 貞友義典** (弁護士) 陣痛促進剤被害訴訟に数多く関わって
- 勝村久司** (当会世話人) 産科医療補償制度の再発防止委員会委員として

### 第二部 被害報告 司会 須加厚美 (弁護士)

- 1 帝切既往者なのに陣痛誘発を行い子宮破裂、子宮摘出し児は2歳で死亡
- 2 PGE2錠の被害 分娩監視装置の不使用、児は出生後にまもなく死亡
- 3 PGE2の上量投与による子宮破裂、子宮摘出